

安曇野市児童館建設検討会（豊科地域） 会議概要

- 1 審議会名 第3回安曇野市児童館建設検討会（豊科地域）
- 2 日 時 令和5年8月3日 午後7時00分から午後8時10分まで
- 3 会 場 安曇野市役所 3階共用会議室305
- 4 出席者 増田会長、須永委員、小宮山委員、曾山委員、高野委員、
南山委員、太澤委員（秦泉寺委員代理）、野口委員、馬淵委員、関委員
- 5 市側出席者 矢口教育部長、山越子ども家庭支援課長、古畑児童青少年係長、本島主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和5年8月4日

協 議 事 項 等

◇会議の概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 児童館に関するアンケート調査の結果について
 - (2) 豊科中央児童館の進捗状況及び設計にむけた協議
 - (3) 今後の予定について
 - (4) その他
- 4 閉 会

(事務局) 設計業者である小川原設計より小川原氏に同席していただいた。

◇議事

- (1) 児童館に関するアンケート調査の結果について
(事務局) ※資料により説明。
(会長) 利用する子ども（小中高生）の年齢とアンケートに回答している乳幼児の母親とのギャップをどう埋めていくか。
(事務局) アンケートに回答いただいたのは、多くが小さい子どもの母親で、その子たちの遊ぶ場所や衛生面・安全面についての意見を多くいただいている。
(委員) 広いワンフロアで上の子と下の子がそれぞれ遊べると親としても見渡せて安全面で安心だが、小学生と乳幼児のような小さい子供でトラブルやけが・事故がないような工夫が必要。屋内で小学生が活発に遊ぶことを考えると危険があると感じる。
(委員) 小学生と小さい子どもと一緒に遊べたらよいが、体格も違い、けが等のことを考えるとなかなか一緒に遊ぶことは難しい。限られた室内でそういったことを考えるとだんだん利用することが少なくなる。ただイベントなども行われているので参加してみたい。
(小川原設計) 現地に伺い先生とも話をさせていただいた。現場の要望等を設計に反映するとともに委員の皆さんのご意見も伺ってお応えしていきたい。よりよいものにどうやってしていくか、一つ一つのご意見にどう対応していくか。今後20年から50年くらいは対応できるような施設を目指して進めていきたい。
- (2) 豊科中央児童館の進捗状況及び設計にむけた協議
(事務局) ※資料により説明。
(委員) 豊科中央児童館の中高生の利用の多さに驚いた。アンケート結果は小さいお子さんのいるお母さんの意見が印象的でターゲットを絞るならそちらかなど。ただ利用実績をみると中高生まで含めた子どもたちが使える施設にしていきたい。状況に応じて空間の広さを変えられるような建物というのにも必要になってくるかもしれない。

(委員) 柔軟性をもたせた施設ができるといういろいろなニーズに応えていくことができるかなと感じた。

(委員) 子どもたちだけで利用できない地域の子たちの配慮はどうするのかというのは今後の課題。アンケートの結果では職員への肯定的な意見がとても多くみられる。ハード面だけではどうしようもない部分は、職員の方がしっかりフォローされている。ぜひそこに働いている職員の方々のご意見は尊重していただきたい。

(委員) 施設の規模を検討するにあたり、人口推移等の資料について、例えば吉野区の年齢ごとの人口推移等の資料はないか。

(事務局) 資料で示したものをさらに地域・年齢等を細分化した数値をすぐにだすことは難しい。

(委員) 児童館利用者はどこの地域からどの児童館でも利用できるのも、利用者の居住地域を限定するのは難しいと思う。規模については、アンケート結果や現場の職員の方の意見すべてを反映することは難しいと思うので、どういったものを優先して児童館にもっていくのか検討が必要。

(委員) 子どもたちを受け入れる側としては、やはりある程度の大きさがないと難しい。敷地は現在よりも広がるのか。

(事務局) 敷地は現在と変わらないので、その中でどう使っていくかということになる。

(委員) 豊科中央児童館は小学生・中学生・高校生と多くの方に利用いただいているが、児童館ごとに特色をつける。例えば豊科中央は乳幼児と保護者がゆっくり過ごせる、別の児童館では小学生以上でも楽しめる大きい遊戯室を用意するなど、児童館ごとに色をつけるということも、限られた範囲で有効的に活用するということでは大事ではないか。あと豊科中央児童館の課題としては、館庭を出ると目の前を車が通っているので、そういった危険な要素を排除するために敷地内の配置の検討も必要。また児童館は子どもたちやその保護者のための施設ではあるが、地域の高齢者の方たちが気軽に立ち寄れる、いろいろなひとたちが交流をもてる場所であってもいいのかなと思う。

(委員) 障がいのある子が利用しやすい設備、トイレなどが整備されると障がいのあるお子さんの保護者としては利用しやすいのではないか。

(会長) そういった面ではスロープ等もあったほうがよい。

(委員) 敷地について現在の敷地の中でということだが、樹木を伐採して少しでも広げるといふことはできないか。

(小川原設計) 児童館の隣接する西側の土地は公園用地となっているが、新しい児童館の西側に遊び場を設けて公園を一体的に遊べるようなプランを検討している。館庭と公園がつながるように考えれば遊び場も増える。建物を東側にすることで、先ほどの館庭を出てすぐに車が走ると危険も解消される。ただ児童館としては管理面で課題が残るので、フェンスや出入口を設けること等、検討している。

(事務局) 小川原設計さんの話のとおり、公園を遊びの場として使うということであり、児童館の敷地が広がるということはない。児童館と公園の境界はあるが、利用する子どもたちにとっては一体的にあそべるようにしたいという考えである。

(会長) 隣の社協を利用する際、館庭のすぐ横を車で通るので危険だと感じる。

(小川原設計) 車歩道分離についてはフェンスか花壇か検討をしている。

(3) 今後の予定について

(事務局) ※資料により説明。

(委員) 平成24年度の報告書でまとめられた、豊科中央と高家児童館をひとつにまとめるという結論と、現在進んでいる二館建て替えについて、市から区民に文書を回覧するなどの説明を対応してもらえないか。

(事務局) 住民の方々への説明・周知は、文書回覧・ホームページ等、方法を検討している。

(委員) 第1回でそれぞれ建て替えということになったことを周知していただきたい。平成24年度の報告書にあった移動児童館や児童クラブについてはどう考えるか。

(事務局) 平成24年度の報告書と現在の状況がどう変化しているかという経過をふまえて説明・周知する必要はあると考えている。

(委員) この会議は児童館建設検討会ということであり、その他事項多岐にわたってこの期間・人数で検討することは難しいのではないか。これまでも豊科中央児童館・高家児童館に焦点を当てて話を進めてきた。児童クラブについては、子ども家庭支援課職員が学校にこられて現在も協議を進めているので、児童クラブまでこの検討会で扱う内容とは考えていない。それぞれの場所で検討を進めてもらい、この検討会では2館建て替えについて検討していくということによいのではないか。

(事務局) 児童クラブについては各学校と協議を進めている。協議のうえ、骨子が固まれば検討会でも現在の進捗状況等報告ができると考えている。

(4) その他

(その他意見・質問なし)

(次回 10月開催予定)